

WHO ファクトシート

ラドンと健康

Radon and health

2016年6月

重要な事実

- ・ラドンは、天然に存在する放射性のガスで、家庭や学校や職場のような屋内環境で確認することができる。
- ・ラドンは、喫煙に次いで肺がんの最も重要な原因である。
- ・天然の平均ラドンレベルや喫煙率によるが、ある国ではラドンは肺がん全体の3～14%を引き起こしていると推定される。
- ・安全といえるラドン暴露の下限閾値は不明であるが、家庭内のラドン濃度が低いほど肺がんのリスクも低くなる。
- ・新築家屋内のラドンを防止したり既存住居内のラドンを減らすための、十分に検証され、持続的効果があり、コスト効率の良い方法は存在する。

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Radon and health

ファクトシート原文は [こちら](#)